

科目名：障害児保育Ⅱ		講義・ <input type="checkbox"/> 演習	担当教員名：須藤 眞紀美
			実務経験：有
2年次前期	1単位		選択 / <input type="checkbox"/> 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育の、発達援助・環境構成等の理解及び関わり方について実践につなげることができるようになる。 ・障害児の保護者支援について理解できたか。 ・子どもの行動の背景等について事例を通しグループで討議し身につく。 			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び他児との関わりの中で育ち合う保育実践について理解を深めるようにする。 ・障害のある子どもの保護者への支援や関係機関との連携について理解する。 ・障害のある子どもの保育に関わる保健・医療・福祉・教育の現状と課題について理解する。 ・すべて事例を通し、保育の中で、共に育つことの大切さを理解させる。 			
授業計画			
1	これからの授業方法の説明・1年次の復習 レポート課題		
2	障害児保育の内容 演習「どんな困難さが予想されるか」		
3	同 上：身近な保育者との関係性を形成する。友達関係を形成するための支援		
4	同 上：クラス活動や園行事への参加		
5	障害児の家族の心理		
6	同 上：障害児の親を支えていくために。兄弟との関係支援		
7	障害児保育の方法：担任保育者と支援員との信頼関係の形成		
8	同 上：保育環境と配慮と居場所づくり		
9	同 上：遊びの広がり・遊びが育む関係性		
10	同 上：一人ひとりの学び方の保障		
11	障害児保育の基本と取り組み		
12	同 上		
13	障害児保育の実際：事例から学ぶ		
14	同 上		
15	まとめ：重要な部分の復習 定期試験		
テキスト 障がい児保育の基礎 柴崎 正行 編著 わかば社			
<p>参考書等</p> <p>障がい児保育シートブック ・幼児教育と保育のための発達心理学</p>			
<p>評価の方法</p> <p>定期試験（80点）及び授業参加態度（20点）</p>			